

ダイワハウス杯第5回北九州大会

2年連続3度目の優勝を飾った八幡南ナイン



「ダイワハウス杯第5回北九州大会」は北九州市の桃園球場などで開かれ、中学生の部は八幡南ボーイズ(北九州)、小学生の部は広島安佐ボーイズ(広島)がそれぞれ優勝し、ともに2連覇を果たした。決勝では八幡南が中間ボーイズ(福岡北)を8-3、広島安佐は上津役(こうじゃく)ボーイズ(北九州)を11-3の4回コールドで退けた。大会は16、22、23日にあり、九州各地や広島から中学32チーム、小学6チームが出場した。(弓削 大輔)

八幡南 3度目

中学生の部

▼中学生の部決勝
八幡南 201 040 01 3
中間 002 100 01 3
【八】内木場、柴田翔、柿原、梶原、本間【中】森下、山下、市之瀬、石橋▽本塁打【本間】(八)▽三塁打【柴田翔】(八)▽二塁打【葉山4、梶原(八)市之瀬(中)】

4番・葉山決勝
4打席連続二塁打
八幡南の4番・葉山正汰が中間との決勝で4打席連続で二塁打を放ち、チームをこの大会3度目の優勝に導いた。

▶▶ 決勝の5回、勝ち越しの適時二塁打を放つ八幡南・葉山



連続で二塁打を放ち、チームをこの大会3度目の優勝に導いた。最初の二塁打は初回で、左越えに先制の一打を放った。2本目は3回の先頭で左翼線を破り、3-3で迎えた5回無死二塁の場面で左翼線に運んだ3本目が決勝点の一打。締めくくりは6回の左越えだった。葉山は今大会、全5試合で計15打数13安打と打ちまくり、うち8本が長打。好調の理由は、得意の左方向だけでなく「右方向にも長打が打てるようになったから」と話す。3月の春季全国大会1回戦の上越戦で3打数無安打と振るわず、チームは初戦で敗退した。東京遠征から戻った後は「引っかけないように、右方向を意識した打撃練習を徹底してやった」と話す。その成果で打撃に確実性が増した。

決勝の5回、ランニング本塁打で生還して笑顔の八幡南・本間

さらなる強さへの気を引き締め練習
チームは大会連覇を飾る一方、守りや走塁のミスも出て課題を残した。「夏は厳しい試合が続く。全力で取り組まないといけない」と徳野晴美監督。この優勝は通過点で、目標は6月の選手権大会予選と、その先にある全国大会だ。さらなる強さを身につけるため、ナインは気を引き締めて練習に臨む。



▼中学生の部1回戦

| | | |
|---|-------|----|
| 八幡南(北九州) | 01230 | 15 |
| 豊前(福岡北) | 00000 | 0 |
| 【八】柿原、梶原、柴田翔、本間 | | |
| 【豊】早田隆、松尾、加木、田中 | | |
| 竹内▽三塁打【柿原(八)▽二塁打【葉山2、本間、古賀2、山中(八)児安(豊)】 | | |

▼同2回戦

| | | |
|----------------------------------|---------|----|
| 八幡南 | 1000010 | 2 |
| 京築 | 1000000 | 14 |
| 【八】梶原、柴田翔、本間【京】 | | |
| 竹内、白石、細川▽三塁打【古賀(八)▽二塁打【荒牧、松田(京)】 | | |

▼同3回戦

| | | |
|------------------------------------|-------|----|
| 熊本西部 | 00000 | 0 |
| 八幡南 | 30300 | 1X |
| 【熊】江藤、下岡、浦辺【八】内木場、柿原、本間▽二塁打【葉山(八)】 | | |

▼同準決勝

| | | |
|---|-------|----|
| 刈田 | 00000 | 0 |
| 八幡南 | 62000 | 0X |
| 【刈】石橋、田辺、宮崎【八】柴田翔、柿原、本間▽三塁打【古賀(刈)葉山(八)▽二塁打【堀本(刈)梶原、本間(八)】 | | |

▼中学生の部決勝

| | | |
|--|---------|---|
| 八幡南 | 2010400 | 1 |
| 中間 | 0021000 | 1 |
| 【八】内木場、柴田翔、柿原、梶原、本間【中】森下、山下、市之瀬、石橋▽本塁打【本間(八)▽三塁打【柴田翔(八)▽二塁打【葉山4、梶原(八)市之瀬(中)】 | | |